

## Museum News

### 館長からのメッセージ — 学院資料活用に向けて —



附属総合ミュージアム 館長 横川公子

令和2年2月、総合ミュージアムの発足と同時に、当館運営の仕組みの一として「学院資料部門」が設置されました。学院周年史の編纂業務を担当していた旧資料室を受け継いだ新規の器です。本年は、取り組みを軌道に乗せるべく試行錯誤中ですが、現在は、創設者・公江喜市郎関係資料の調査を完了し、学院の歴史資料として活用することを目指しています。引き続き、前学院長・日下晃関係資料等に取り組んでいます。

当館には、全国や周辺の大学ミュージアムから、大学の歴史に関する展示やシンポジウム企画の案内が逐次、

届いています。最近では、「関西大学学生スポーツの歴史」(~3/19)、「神戸大学史・特別展 戦場に行った学生たち」(~12/28)、「明治から戦前期の教育資料—奈良女子高等師範学校と京都高等工芸学校」(~11/21)等々が、開催されています。

当館では、教育・研究の現場史資料の発掘が切実な課題であり、学科史資料調査委員会をお願いし、各学科の史資料のリスト化を進めています。今後とも、ご協力をお願いいたします。

### 展覧会報告

[登録有形民俗文化財] 登録記念特別展

## きもに見る モダン生活の軌跡

—A Locus of Modern KIMONO Life—



開催期間：2020年10月7日~12月9日  
\*11/17~11/24 一時休止

3月初めに中断した登録記念特別展を10月から再開しました。再開はホームページでお知らせしました。新聞2社から取材、記事も掲載されました。きもに関心のある方から問い合わせをたくさんいただきました。会期中は、きもの姿の観覧者も多く来館しています。

展覧会再開にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いました。受付に飛沫防止の亚克力ボードや消毒用アルコールを設置し、人数制限して、来館者にはマスク着用、検温、来館者カード記入などでご協力いただいています。

### 次回展覧会案内

2020年度特別展「阪神間モダンライフ」

開催期間：2021年2月24日(水)~4月28日(水)

\*会期が変更になる可能性があります。最新情報はホームページでご確認ください。

2019年度に寄贈された塩野家コレクションを中心に、大正~昭和戦前期の阪神間地域のモダンライフについて考えます。商売を離れた船場商家の暮らしの一端をご覧ください。



# 活動報告 (2020年6月～12月抜粋)

○博物館学芸員課程関連 ◇授業利用

- 6月3日 第1回運営委員会
- 6月10日 地域連携部門打ち合わせ (西宮市郷土資料館 館長 俵谷和子氏、横川、奥、樋口)
- 6月29日 出張 大阪くらしの今昔館 婚礼衣装調査 (樋口)
- 7月1日 学院資料取扱いについて学内関係者で打ち合わせ会議①  
第2回運営委員会  
紀要発行に関する打ち合わせ (宇野、横川、樋口)
- 7月10日 出張 東京国立博物館 展覧会見学 (横川、樋口)
- 7月14日 心理社会福祉学科 大岡由佳先生企画の展覧会開催方法について相談  
(「トラウマ展 みてないことへの寄り道」 9/19～22)  
(大岡、高濱、横川、樋口)
- 7月28日 (株)クマヒラと芸術館仮収蔵庫の除湿器について打ち合わせ  
(施設設備課、榎原、樋口)
- 7月29日 学院資料取扱いについて学内関係者で打ち合わせ会議②
- 7月31日 きもの資料修理について打ち合わせ (修復部門: 横川、井上、小林)
- 8月5日 紀要発行に関する打ち合わせ (宇野、樋口)  
第3回運営委員会
- 8月7日 中田家コレクション資料整理作業の現状確認  
(横川、榎原、樋口、臨時職員)



- 8月24日 学院資料整理について打合せ (日本通運(株)、横川、榎原、樋口)
- 8月25日 広報室による IR 館の取材 (武庫川女子大インスタグラム掲載)
- 8月26日 ○大日3年対象 博物館実習科目履修説明会について (MUSES 掲示)
- 8月28日 芸術館での学院資料整理について打ち合わせ (横川、榎原、伊永)  
共同研究の可能性について生美研と打ち合わせ (横川)
- 9月1日 ○実習科目「博物館実習 B」一括履修登録 (榎原)
- 9月2日 第4回運営委員会・芸術館(仮収蔵庫) 見学
- 9月3日 ◇「博物館実習」(担当: 古野貢) 補佐 (樋口)
- 9月9日 研究員・嘱託研究員交流会・仮収蔵庫ツアー (11:15～12:10 芸術館)



- 9月10日 ○実習終了報告書回収 (榎原)
- 9月14日 芸術館の学院資料整理について学内関係者と打ち合わせ (横川、榎原)
- 9月16日 第1回「阪神間モダンライフ」実行委員会
- 9月25日 学院資料整理について現地打合せ (日本通運(株)、学院関係者、横川、榎原、樋口、伊永)
- 9月28日 ○大日3年生 博物館実習履修説明会
- 10月2日 ◇「生活文化演習」(担当: 池田仁美) 中田家コレクション調査
- 10月6日 鳴尾木綿・綿伝承人 牧野保代氏が来館、  
鳴尾新聞と「鳴尾の綿(改訂版)」を受領



「鳴尾の綿(改訂版)」表紙

- 10月7日 登録記念特別展再開!  
「きものに見るモダン生活の軌跡—A Locus of Modern KIMONO Life—」



- 第5回運営委員会・第2回「阪神間モダンライフ」実行委員会  
神戸新聞の取材 (横川)
- 10月12日 毎日新聞の取材 (横川、樋口)  
甲子園会館から資料を借用 (横川、樋口)
- 10月13日 芸術館収蔵環境調査 (宇野、横川、榎原、樋口)
- 10月14日 ○博物館実習記録回収(～15日) (榎原)
- 10月23日 「Studio M+」にて「阪神間モダンライフ」収録用写真撮影
- 10月26日 「Studio M+」にて「阪神間モダンライフ」収録用写真撮影



- 10月28日 甲子園会館に資料を返却 (樋口、加茂)
- 11月2日 ○大日1、2年生 学芸員課程履修説明会 (MUSES 掲示)
- 11月4日 第6回運営委員会・第3回「阪神間モダンライフ」実行委員会
- 11月5日 芸術館収蔵環境調査 (宇野)
- 11月6日 入試前日のため展覧会休館
- 11月9日 出張 大阪府立大学有職人形調査 (横川、伊永)  
○令和3年度シラバス作成依頼発送 (榎原)
- 11月11日 出張 京都工芸繊維大学美術工芸資料館・京都文化博物館 展覧会見学  
(横川、樋口、伊永)
- 11月12日 ○学芸員課程 履修申出締切
- 11月13日 ○課程履修費徴収開始  
◇「生活文化演習」(担当: 池田仁美) 展覧会見学 (横川解説)
- 11月17日 出張 名古屋市博物館 展覧会見学 (横川、樋口)
- 11月  
17～20日 学内で新型コロナウイルス感染者発生のため展覧会一時休止  
紀要発行打ち合わせ 他 (横川、宇野、樋口)
- 11月20日 研究員・嘱託研究員交流会  
第1部 施設見学会 / 第2部 研究報告会  
芸術館収蔵環境調査 (建築学会ワーキンググループ、宇野、横川、樋口、伊永)
- 12月2日 ◇「初期演習」(担当: 福井哲夫) 展覧会見学
- 12月4日 第4回「阪神間モダンライフ」実行委員会  
◇「生活文化演習」(担当: 池田仁美)  
中田家コレクション調査
- 12月9日 第7回運営委員会



## 学院関係者資料全件リスト作成経過報告

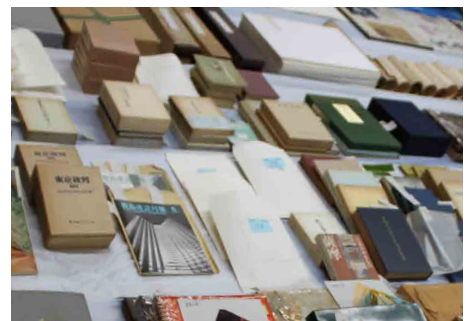
11/26に公江喜市郎関係資料のリスト化終了。引き続き、リスト化作業を進めています



山高帽を測る



調査済み資料を並べる





## 寄贈品一覧 (2020年2月～11月) 仮収蔵庫のスペース不足のため受け入れ休止中です。ただし、追加資料として以下の寄贈を受けました。

- |                                |                            |
|--------------------------------|----------------------------|
| 2月・2008年オリンピック誘致時の法被 1点 (上田武久) | 7月・婚礼衣装他 4点 (小糸順子)         |
| 3月・きもの資料 19点 (難波由美子)           | ・チェックライター他 5点 (会計課)        |
| ・きもの資料 9点、整理タンス 2点 (大河原万紀子)    | ・半衿 438点 他 (市田俊介)          |
|                                | 10月・大槻文彦記念寄書貼交掛軸 1点 (公庄れい) |
|                                | 11月・きもの資料 13点 (尾上鎮恵)       |

## 館蔵資料紹介 \_ 名古屋帯・裁縫雛形・絵更紗の袋物

10月に IR 館1階の常設展示コーナーを展示替えしました。展示替えは季節に合わせたものを心がけています。今回は、登録有形民俗文化財の中から「名古屋帯」「裁縫雛形」「絵更紗の袋物」を展示しています。「名古屋帯」は昭和戦前期のものです。菊の文様を集めました。「裁縫雛形」は実物を正確に縮小したミニチュア制作物で、明治期に東京家政大学の創立者である渡辺辰五郎(1844-1907)によって考案されました。短い期間に多種類の裁ち縫いを学ぶことができます。「絵更紗の袋物」は昭和45年ごろから竹尾千代が制作したものです。絵更紗の創始者である元井三門里(1885-1956)の参考書を模倣して制作しています。



左：名古屋帯  
中央：裁縫雛形  
右：絵更紗の袋物



## 2020年度 第1回 研究員・嘱託研究員 研究報告会



研究の可能性と独自性を探るため、進行中の研究を共有する機会として、年2回程度、公開で開催する予定です。

日時：2020年11月25日(水) 11時10分～  
場所：学術研究交流館 301



第1回研究報告会では、嘱託研究員4名が発表しました。

- ・近代における友禅図案とその展開 (加茂瑞穂)
- ・武庫川女子大学近代衣生活資料の修復の現状と着物の縫製について (小林政子)
- ・旧制女子教育機関所蔵「有職人形」を中核とした近代女子教育と皇室文化の研究 (伊永陽子)
- ・学生参加による新しい大学周年史編纂の取り組み (米田浩子)

なお、当日の要旨集には研究員・嘱託研究員による計8件の研究報告を収録しています。



## 収蔵品データベースの公開に向けて

附属総合ミュージアム 臨時職員・嘱託研究員 加茂瑞穂



現在、ミュージアムでは収蔵品の情報をウェブ上で公開するため、データベースを構築しています。データベースは文字で検索をして、資料情報や画像を閲覧することが基本です。そのため、資料を的確に表わした文字情報をつけ、分類を決定することも調査・研究として重要な業務です。また、本ミュージアムでは収蔵品が生活に関わるあらゆるモノを含むため、的確な分類と整理は必要不可欠です。

データベースの構築は、館外からあまり見えない地道な作

業ですが、どんなモノをミュージアムが所蔵しているのかを気軽に知ってもらう場でもあります。多くの人に見てもらえるデータベースを目指していきたいと思います。



\*画像は調整中のものです。

年度内にHPで公開予定!



情報メディア学科の協力を得て、MM館地下のスタジオ「Studio M+」を使用しています。



過去の展覧会図録はミュージアムで閲覧できる他、図書館にも所蔵されているので、ぜひご覧ください。  
展覧会の開催中は、来館者に無料でお配りしています。

## 学芸員の仕事について② 図録の作成

附属総合ミュージアム 樋口温子助教・学芸員



現在、当館では2月末から開催予定の展覧会「阪神間モダンライフ」に向けて図録の編集作業を行っています。

展覧会の企画、構成、出展資料の選定を経て、当館では展覧会開始の4か月ほど前に図録用に資料写真を撮影します。今回は、10月23・26日の2日間で、約200点の資料を撮影しました。撮影は、学芸員自身が行う場合もありますが、今回は、より良い写真を効率よく撮るため、プロのカメラマンに依頼しました。ただし、資料の「どこを見せたいのか」「どう見せたいのか」を指示するのは学芸員の仕事です。

展覧会で実物を展示し、ご覧いただくことは、何物にも替えられないミュージアムの使命ですが、展覧会終了後、形に残り、後に展覧会の様子を伝えるのは図録のみとなります。図録は、展覧会の記録を残すミュージアムの重要な資料と言えるでしょう。撮影のあとも、編集作業、解説や論考の執筆などが続きますが、やりがいのある仕事です。

## コラム：文化財の保存環境をつくる

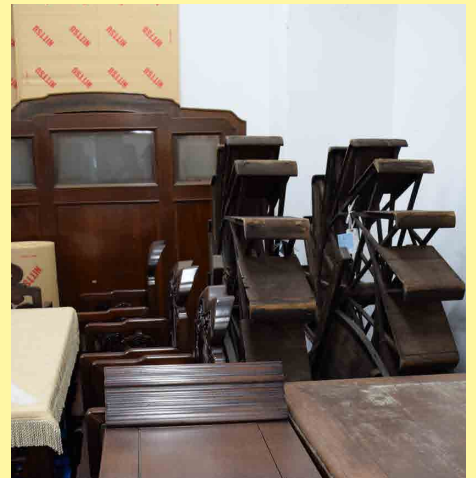
附属総合ミュージアム 研究部門リーダー  
建築学科 宇野朋子准教授



附属総合ミュージアムでは文化的資料の収集、保存と公開・活用を行っています。本館の資料の多くは、環境変化に敏感な、染織品や紙資料であり、それぞれの資料に適切な環境で保管、公開・活用が求められています。

たとえば染織品は、紫外線や強い光により褪色や劣化を起すため、展示や保管では受ける光の量の調整が必須です。また、高い相対湿度ではカビが生えたり、低い相対湿度では資料の柔軟性が失われ、少しの刺激で破れてしまいます。急激な環境の変化も好ましくありません。一般的には、相対湿度は55～65%、気温は20～25℃程度が望ましい環境とされています。

本館でも、室内の温度や湿度の変化を抑え、また、資料もケースに入れられるなど環境の影響が小さくなるように、望ましい環境を作る努力がなされています。国立の博物館のように整った環境ではなく、高温や高湿・乾燥といった環境にさらされることもあります。ミュージアムの大切な業務として、日々の変化をモニタリングしながら、資料がよりよい環境で保管、展示・公開されることを目指して、環境の整備に取り組んでおります。



芸術館（仮収蔵庫）の様子

## ミュージアムラビー紹介

武庫川学院キャラクターのラビーに新しくミュージアムバージョンが誕生しました！いつものラビーにメガネと本をプラスして、絵画資料を説明している場面を表現しました。また、背後の絵画は所蔵資料の静物画をモデルにして、ミュージアムの5つの部門をバラの花で表しています。

# M.W.U. MUSEUM



武庫川女子大学附属総合ミュージアム

ミュージアムニュース no.2

2020年12月発行

〒663-8558 西宮市池開町6-46

学術研究交流館（IR館）4階

TEL/FAX (0798) 45-3509

Mail haku@mukogawa-u.ac.jp

HP <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum>



ニュース内で使用しているイラスト（ミュージアムラビー以外）は附属総合ミュージアムで作成しました

